

円満想続の3K「感謝・絆・供養」

月刊ニュースレター

想 続

Vol. 18 (2012年3月号)

発行：一般社団法人 日本想続協会

〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-4-1 岡野ビル 4F

TEL 03-3404-1225 FAX 020-4664-9664

E-mail [info@n-sk.org](mailto:info@n-sk.org) (担当：内田)

☆定期購読（無料）をご希望の方は上記へどうぞ！

## お母さん、ありがとう

こんにちは。想続塾塾長の内田麻由子です。春のお彼岸にご家族でお墓参りをされる方も多いことと思います。今月は、想続塾にご参加くださっている、横須賀の大橋石材店の大橋理宏さんが、3年前のお母様のお通夜の日、お母様への想いを綴った日記を、大橋さんのご了承を得て紹介させていただきます。

☆ ☆ ☆

母へ

この1か月の間に起きたことは、家族の間に成長と絆を与えてくれました。父のおかあさんへの強い想い。兄弟たちのそれぞれの想い。そして、自分もこんないろいろな想いが詰まっているのかと思うほどの気持ちが溢れかえってきました。

おかあさんが生きるために選んだ手術への選択は、一瞬の喜びのあとはかなく消えました。ただ、2度の心停止の後におかあさんが皆に与えてくれた10日間は、家族に今ある現実と、皆に向き合う時間を与えてくれました。そしておかあさんの強さ、家族への愛情を知りました。

その間も強がって、会社を護ること、兄弟を励ますこと、みなに余計な心配をかけないように動き回っていて、いつもどおりにしていればおかあさんは安心すると気を紛らわせて、おかあさんのそばに一番いてあげられませんでした。受け入れていなかったのは自分だったのかもしれない。今は受け入れ、ただ悲しくて涙が止まりません。

おかあさんが遺してくれた課題は少しずつ解消しています。ずっと会えずにいたあなたの初孫加奈も今日と明日、最後まで居てくれます。もっと早くあわせてあげればよかった。いろいろ理由をつけて自分から避けていたのも事実です。この7年間ずっと気になっていたことでしょう。逢いたかったでしょう。そうやって、いらぬ心配ばかりかけてきたのは子供の頃からでしたね。

でも、謝りません。

ありがとう。本当にありがとう。

まだ素直じゃないから、皆の前では、きっと今日も明日も強がっているけど、今は、感謝をこめて、泣かせていただきます。

親父とおかあさんで創った会社、跡をとりました。いろんな方の悲しみを聞いているなかで、いつも今おかれているこの悲しみがお客さんの心にあることがちゃんと理解できていなかったと思います。最期に学ばせてもらったことだと肝に銘じて、二人のもう一つの子であるこの会社を護っていきます。

昨日、棺に納めた時のお母さんの顔は、黄疸も消え、本当に寝ているかのようなようでした。寝顔は軽く笑みを浮かべて、こんなに朗らかな顔で、なくなることができるのか、不思議なくらいにいい顔しています。家族の絆も強まりきっと満足して旅立ったのでしょう。

明日の葬儀は笑って見送ります。強がりかもしれないけど、明るい我が家族が好きでしたから。

いままで、いっぱい愛情をありがとう。

あなたの子で生まれてよかった。

ありがとう。 理宏

☆ ☆ ☆

お母様の死によって家族の絆が一層強まったのですね。そしてお母様を亡くされてはじめて、これまで受けてきたお母様の慈愛に心から感謝できたのですね。

最後に子どもから「あなたの子で生まれてよかった。ありがとう」といって送られたお母様は、母親業という大事業を見事に成し遂げた人生だったと思います。

いつもお伝えしている「円満想続の3K—感謝・絆・供養」がある、素晴らしいご家族ですね。

十億の人に十億の母あるも わが母にまさる母あらめやも

暁鳥敏（あけがらす はや、明治～昭和の高僧）

-----◆ 財産の相続と心の相続（想続）を楽しく学ぶ『想続塾』を毎月開催しています ◆-----

3/19(月)「悲しむ力～家族の絆と供養から考える想続」(僧侶 中下大樹 氏)

4/23(月)「サザエさん家で学ぶ、相続税で失敗しない5つのポイント」(税理士 内田麻由子 氏)